

トークイベント「居心地の良いまちって何だろう？」  
参加者コメント

# トークイベント「居心地の良いまちって何だろう？」

## 参加者コメント

- ◆ 若者と世界をつなぐ、食とひとを繋ぐなど、青葉通りに来るひとが自分がしたいことを通して居心地の良い場所になると良いですね。千葉のガス事例のようにみんなが共有できる考えがあるのもお互いのことを考えることができ良いですね。
- ◆ echosはカフェ空間として大好きで、若者が行きたくなる空間だと感じますが、そこでの「世界と繋がる」とはどういうことを指すのか気になりました。(その場にいる人と話すこと？食を通じて世界に興味を持つこと？)
- ◆ 岳歩さんに質問です) 六本木には六本木のカルチャーがあるように、仙台には仙台のカルチャーがあると思いますが、岳歩さんは仙台のカルチャーはどのようなものだと思いますか？また、カルチャーはどのように形成されるとお考えですか？
- ◆ 岳歩さんに質問です。お店をやっていると常連さんができるのも自然とあることだと思います。常連さんが溜まってしまって、新規のお客さんが来店しにくくなったり、“居心地”に影響が出ることもあると思いますが、空間創り、スタッフの育て方などで気をつけている事はありますか？
- ◆ 奥口さんの空気感が一番居心地がいい！笑

# トークイベント「居心地の良いまちって何だろう？」

## 参加者コメント

- ◆ 質問ではないのですが、感想です！ 地域や人と人がつながるイベント、マルシェのような空間が、私は大好きです。カジワラさんの深沼イベントや、昨年エコースさんの前で行っていたアオバマルシェなどのコミュニティの場が増えることで、新たな出会いや、気づき、発見が増え、自分も他者も成長できる機会ができるのではないかと、改めて思いました！ それと同時に地域の良さや魅力も改めて実感できるなあと思いました。素敵な講演を、ありがとうございました。
- ◆ 貴重でワクワクするお話をしていただき、本当にありがとうございます。居心地の良いまちを目指して、造園業に携わっています。お二人は居心地の良い空間作りの中で、みどりの在り方、みどりのもたらす効果についてどのような思いでご活用されていますか？
- ◆ 仙台の人はシャイで、外に開けた居心地の良い場所であっても、なかなか他人とコミュニケーションを取ろうというスタンスにならなそうな気がします。これは県民性による違いでしょうか？他の地域だと居心地の良い「場」があればコミュニケーションが活発に行われるものでしょうか？
- ◆ まちづくりや多様性を語る上で、人との交流やつながりばかりに目線が行っている印象があり違和感がありました。今日のお話では、1人時間の大切さや逃げ場などに言及があり、とても納得感がありました。交流やつながりばかりがまちづくり・多様性ではないと思います

# トークイベント「居心地の良いまちって何だろう？」

## 参加者コメント

- ◆ 街って建物がある、お店があるなど与えられたものを楽しむ感じがこれまででしたが、ベンチに腰掛けて休むなど些細なことでも自分がしたいことができると思うと居心地よくなると感じます。認め合う、寛容な多様性、たくさんの居場所がほしい。
- ◆ 外飲み、大好きです！ 外飲み歩きできるポイントがもっと増えたらとっても嬉しい！
- ◆ 東京や仙台など都会では人がたくさんいたり、整ったまちなみが形成されていて、ある意味色々な仕掛けをしやすい環境だと思います。地方都市のような規模の小さいまちでの居心地の良さの創り方にはどんなひと工夫が必要に見えますか？
- ◆ お店を持っている人や空間づくりを担っているプレイヤーがこういうまちに必要な機能を1番把握していると思いますが、都心まちづくり課など行政側がそれをやる意味合いは何ですか？
- ◆ 「居心地の良さ」に一つの答えは無い。その人やその時の感情によって在り方が変わる。それは多様性が確保され、自分らしさを保っていられる場所。その多様性を受け入れるために「余白」「縁側」「土間的空間」「逃げ場」がまちには必要。その場を作るのに、誰かが単体で頑張る時代では無い。まちやコミュニティの事を自分事として捉えられるような、参加型の仕掛けづくりを誰かがしていかなければならない。